

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	未来保育 CLUB
所在地	東京都町田市中町 1-31-4NTT 町田ビル 1F
対象クラス	1 歳児 (こあら組)

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・ 自然

<テーマの設定理由>

保育園の立地から、近隣に大きな公園があり戸外活動などで訪れると土や葉っぱなどに手が伸びたり眺めたりして周りに興味を持ってきていたため。

2. 活動スケジュール

2025年4月～6月

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 散歩バック
- ・ ペットボトル、ヒモ (スズランテープ)
- ・ シャベル、バケツ
- ・ 絵本、紙芝居
- ・ ビニール袋

・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり

- ・公園につき、手作りおもちゃで遊ぶうちに周りの植え込みがあることに気づく。葉っぱがたくさんついていることを確認すると「小さいね」と言って葉っぱの大きさに気づく姿が見られた。
- ・葉っぱがたくさんある公園では、持っていたバケツに葉っぱを集め、シャベルで取ろうとした子が「土あったー」と一緒に入っているバケツを保育士に見せていた。一人話が上手な子が「なんかにおいがするねー」と言い、保育士にも「におうねー」と何が匂うのか確認するように聞いている。
- ・シャベルではやりにくかったのか、手で葉っぱや土を触り、集めるようになり土を触った手をジーと見つめグーパーにして感触を確認したり葉っぱの表面をじっくり眺めている様子も見られた。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・設定したテーマは、子どもたちの今の興味に合わせているが、興味・関心がそれてしまうこともあった。
- ・普段見ている葉っぱなど、子どもたちがどこを見ているのか、興味を、持っているのかわかりやすかったが、言葉が通じにくいときもあり十分に言いたいことが汲み取れているかがわからなかった。
- ・感触や汚れを嫌がることもなく、むしろみんな笑顔で葉っぱ集めなどに集中していた姿を見ると、保育士も次は何を始めるのかと保育士もワクワクさせられた。
- ・一人の子がやり始めると、模倣することが多かったが、飽きてしまうことも多かった。ただし、しばらくすると思い出したように横に並んで始めていたりする様子が多々見られる。
- ・一緒に遊んでいるようでもあり並行遊びの中で、楽しいという気持ちは共有できているように感じた。
- ・1歳児でも物の大小の違いをしっかりと認識し、そのことを「自分で気づいた」「発見した」という喜びを感じている様子が見られ、小さな発見にドキドキしている感情が伝わってきた。